

令和 5 年 9 月 1 日
国土交通省 九州地方整備局
遠賀川河川事務所

気候変動の影響を踏まえた流域治水対策へ ～『遠賀川流域治水プロジェクト 2.0』を公表～

遠賀川河川事務所では、流域のあらゆる関係者が協働し、治水対策を行っていく「遠賀川流域治水プロジェクト」を令和 3 年 3 月に策定し、これまで、流域治水協議会に参画する関係者との連携を図りつつ流域治水の取り組みを実施してきました。

一方で、近年の気候変動の影響により将来的に降雨量の増大が予測されており、今後更なる水災害の頻発化・激甚化が懸念されております。

このことから、遠賀川の流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、国管理区間において、気候変動の影響を考慮した河川及び流域での対策方針を反映した「遠賀川流域治水プロジェクト 2.0」への更新を図りました。

【流域治水プロジェクトとは】

上流、下流、本川、支川の流域全体を俯瞰し、河川整備等に加えて、雨水貯留浸透施設、土地利用規制、利水ダムの事前放流など、あらゆる関係者が協働し、各水系で重点的に実施する治水対策の全体像を取りまとめた取組です。

なお、更新された流域治水プロジェクトについては、遠賀川河川事務所のホームページでご覧になれます。

■遠賀川河川事務所ホームページアドレス

https://www.qsr.mlit.go.jp/onga/disaster/ryuiki_chisui.html

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所
技術副所長 工藤 雄一 (内線 204)
流域治水課長 金田 剛紀 (内線 351)
電話：0949-22-1830 (代表) FAX：0949-22-1834

【同時発表記者クラブ】北九州地区、直方地区、飯塚地区、田川地区